

## ■ドイツ：2017年上半期の再エネ電力シェアは35%に上昇

連邦エネルギー・水道事業連合会（BDEW）は2017年7月28日、消費電力量に占める再エネ発電量の割合が前年同期比2%増の35%となったとの暫定的な調査結果を発表した。再エネの中で発電量が最も多かったのは陸上風力で、前年同期比13.6%増の347億kWhとなった。最も高い増加率を示したのは洋上風力で前年同期比47.5%増の59億kWhとなった。太陽光は前年同期比13.5%増の219億kWhであった。同会のカプフェラー専務理事は、再エネ発電量の増加を歓迎するとしたものの、再エネ増加の進捗に比べて、再エネの受け入れに必要な送電線の増強が遅延していることに危機感を示し、増加する系統安定化費用を引き下げるには送電線増強と再エネの拡大の進捗度合いを調和させることが必要と述べた。加えて、従来型電源は安定供給を維持するために将来にわたっても必要な電源であると述べた。